

いつでもお問い合わせください

登録してサポートを受けるには

www.philips.com/welcome

SBM130

ご質問はフィ
リップスへ



User manual

PHILIPS

目次

1 重要	3
2 ポータブルスピーカー	4
はじめに	4
パッケージの内容	4
スピーカーの概要	5
3 はじめに	6
電源	6
オン／オフを切り替える	6
ソースを選択する	6
4 再生	7
microSD カードから再生する	7
USB デバイスから再生する	7
外部デバイスから再生する	7
FM ラジオを聴く	7
ヘッドフォンで聴く	8
音量を調節する	8
5 製品情報	9
仕様	9
USB 対応情報	9
6 トラブルシューティング	10
7 通知	10

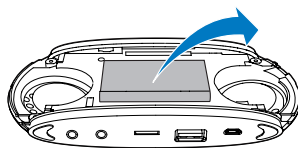
1 重要

- 以下の指示をお読みください。
- すべての指示に従ってください。
- 機器を水の近くで使用しないでください。
- 通気口を塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
- ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の発熱する機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- 製造元によって指定されている付属品／アクセサリ以外は使用しないでください。
- 修理は資格のある修理担当者に依頼してください。機器が何らかの損傷を受けた場合は修理が必要です。これには、液漏れ、何らかの物体が機器内に混入した、機器が雨や水分にさらされた、正常に動作しない、機器を落とした、などが含まれます。
- バッテリーを直射日光や炎などの過度の熱にさらさないでください。
- 機器に水滴がかかったり水跳ねしたりしないようにしてください。
- 危険性のある物体を機器の上に置かないでください（液体の入った物、火が点いたキャンドルなど）。

ヘッドフォンを使用する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 適切な音量と使用時間を守ってください。
- 耳が慣れてきたと感じた場合でも、音量を上げ過ぎないでください。
- 周囲の音が聞き取れないほど音量を上げないでください。
- 危険が予測される状況での使用は十分に注意し、必要に応じて使用を中断してください。
- イヤフォンおよびヘッドフォン使用時の過度の音量は、聴力低下の原因となります。

内蔵バッテリーを取り外す場合は、必ず専門業者に製品を持ち込んで依頼してください。



聴力に関する安全性



！ 注意

- 聴力を損なわないように、大音量での長時間の使用はおやめください。音量は安全レベルに設定してください。音量を大きくする場合は使用時間を短くしてください。

2 ポータブルスピーカー

Philips 製品をご購入いただきありがとうございます。
当社が提供するサポートを最大限
にご利用いただくには、製品を www.philips.com/welcome で登録ください。

はじめに

このスピーカーを使用して、次のことをお楽しみいただけます。

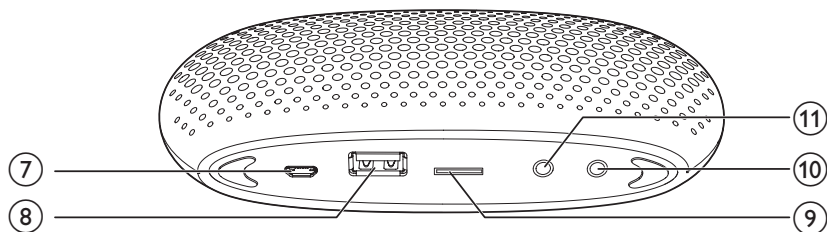
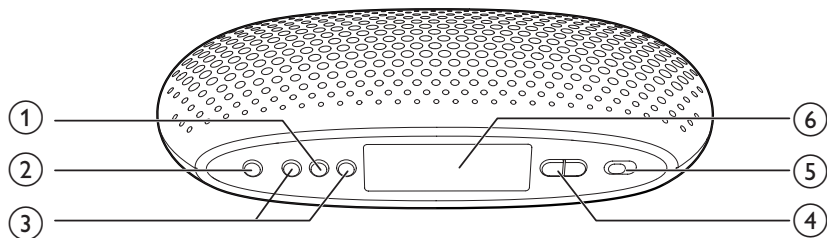
- FM ラジオを聴く
- microSD カード、USB デバイス、その他の外部デバイスのオーディオを再生する

パッケージの内容

パッケージに以下の物が含まれていることを確認してください。

- 製品本体
- USB ケーブル × 1
- 補助入力ケーブル × 1
- FM アンテナ × 1
- クイックスタートガイド

スピーカーの概要



- | | |
|--|---|
| <p>① ▶ </p> <ul style="list-style-type: none">再生／一時停止します。 <p>② S</p> <ul style="list-style-type: none">ソースを選択します。 <p>③ ◀▶</p> <ul style="list-style-type: none">トラックを選択します。再生中に検索します。FM ラジオ局にチューニングします。 <p>④ -/+</p> <ul style="list-style-type: none">音量を調節します。 <p>⑤ ⏻</p> <ul style="list-style-type: none">スピーカーのオン／オフを切り替えます。 | <p>⑥ 表示パネル</p> <p>⑦ DC 5V</p> <ul style="list-style-type: none">内蔵バッテリーを充電します。 <p>⑧ USB</p> <ul style="list-style-type: none">USB ストレージデバイスを接続します。 <p>⑨ MICRO SD</p> <ul style="list-style-type: none">microSD カードスロット <p>⑩ ヘッドホン</p> <ul style="list-style-type: none">ヘッドフォンソケット <p>⑪ AUX</p> <ul style="list-style-type: none">外部デバイスを接続します。 |
|--|---|

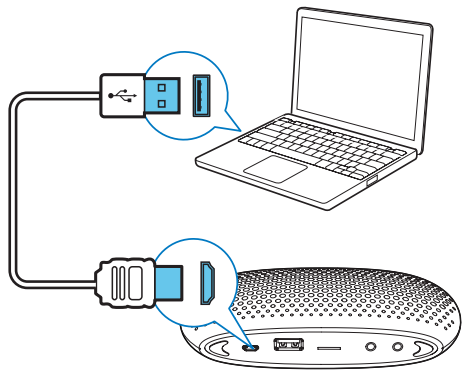
3 はじめに

この章の指示には、必ず順番どおりに従ってください。

Philips にお問い合わせの際は、お使いの機器のモデル番号とシリアル番号が必要になります。モデル番号およびシリアル番号は、機器の下部に記載されています。これらの番号を以下に控えておいてください。

モデル番号 _____

シリアル番号 _____



電源

！ 注意

- 間違った方法でバッテリーを装着すると、破裂の危険があります。バッテリーを入れ換える場合は、同じ型のバッテリー、または同等のバッテリーのみを使用してください。
- スピーカーを損傷する危険があるため、充電には、コンピュータの USB ソケット以外を使用しないでください。

スピーカーは内蔵充電バッテリーで動作します。

内蔵バッテリーを充電するには：

付属の USB ケーブルで次の 2 つを接続します。

- スピーカーの DC 5V ソケット
 - コンピュータの USB ソケット
- 充電アイコンが表示されます。
- バッテリーの充電が完了すると、充電アイコンが消えます。

オン／オフを切り替える

- 🔊 を左にスライドします。
→ スピーカーは、前回使用時に選択されていたソースに切り替わります。
- スピーカーをオフにするには、🔊 を右にスライドします。

ソースを選択する

S を繰り返し押して、音源を選択します。押すたびに、FM チューナー、Aux、USB デバイス、microSD カードに切り替わります。

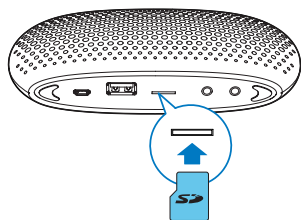
4 再生

microSD カードから再生する

注

- microSD カードに再生可能なオーディオコンテンツが含まれていることを確認します。

- 1 **S** を繰り返し押し、音源として microSD カードを選択します。
→ **[SD]** が表示されます。
- 2 microSD カードをカードスロットに挿入します。
→ 再生が自動的に開始されます。



- 再生を一時停止／再開するには **▶||** を押します。
- オーディオファイルを選択するには **◀◀ / ▶▶** を押します。
- 再生中に検索するには **◀◀ / ▶▶** を押したままにします。指を放すと標準再生に戻ります。

注

- microSD カードの材質や仕様は製品ごとに異なるため、このスピーカーですべての microSD カードが動作することは保証できません。

USB デバイスから再生する

注

- USB ストレージデバイスに再生可能なオーディオコンテンツが含まれていることを確認します。

- USB デバイスを **USB** ソケットに挿入します。
→ **[USB]** が表示されます。
→ 再生が自動的に開始されます。

外部デバイスから再生する

このスピーカーでは、外部デバイスのオーディオを再生することもできます。

- 1 **S** を繰り返し押し、音源として **Aux** を選択します。
- 2 付属の補助入力ケーブルで次を接続します。
 - スピーカーの **AUX** ソケット
 - 外部デバイスのヘッドフォンソケット
- 3 デバイスのオーディオを再生します（詳細はデバイスのユーザーマニュアルを参照）。

FM ラジオを聴く

FM ラジオ局にチューニングする

注

- 電波障害を避けるため、ポータブルスピーカーは他の電子デバイスから離して設置してください。

- 1 **S** を繰り返し押し、音源として **FM** チューナーを選択します。
- 2 **◀◀ / ▶▶** を 2 秒間押し続けます。
→ スピーカーは、受信状態がもっとも良い局に自動的にチューニングされます。

- 3 他のラジオ局にチューニングするには、手順2を繰り返します。

手動でチューニングするには:

受信状態が良くなるまで ◀◀ / ▶▶ を繰り返し押します。

※ ヒント

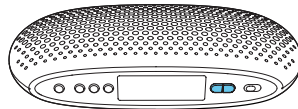
- ラジオ局の信号が弱い場合は付属のアンテナをAUXソケットに差し込むか、ヘッドフォンを使用してください。

※ ヒント

- マイク付きヘッドフォンを差し込んだ場合は、スピーカーとヘッドフォンの両方からオーディオが聞こえることがあります。そのような場合は、別のヘッドフォンを使用してください。

音量を調節する

音量を調節するには、再生中に -/+ を押します。

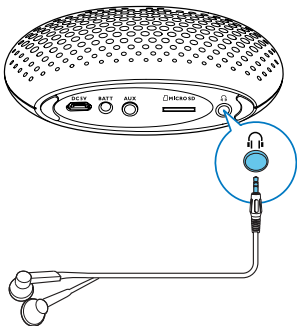


FM ラジオ局を自動的に記憶する

- FM チューナーモードで ▶|| を2秒間押し続けます。
 - スピーカーは、すべてのFMラジオ局を自動的に記憶し、1番目のプリセット局を放送します。
- プリセットラジオ局を選択するには、▶|| を繰り返し押します。

ヘッドフォンで聴く

ヘッドフォンをスピーカーの ㊦ ソケットに差し込みます。



5 製品情報

注

- 製品情報は予告なく変更されることがあります。

仕様

アンプ

信号対雑音比 (SN 比) >50 dB

補助入力 600mV RMS、22 kohm

チューナー (FM)

チューニング範囲 87.5-108 MHz

一般情報

電源	5V $\pm$ 0.7 A
内蔵バッテリー	リチウムバッテリー
寸法 - 本体 (W x H x D)	155 x 71 x 37 mm
重量 - 本体	0.2 kg

USB 対応情報

対応 USB デバイス:

- USB フラッシュメモリー (USB1.1)
- USB フラッシュプレイヤー (USB1.1)
- メモリーカード (本体で使用するには別売のカードリーダーが必要です。一部のマルチカード USB リーダーはサポートされていません)。

サポートされているフォーマット:

- USB またはメモリーフォーマット: FAT12、FAT16、FAT32 (セクターサイズ: 512 バイト)
- MP3 ビットレート (データレート): 32 ~ 320 Kbps および可変ビットレート
- WMA v9 以下
- サポートされているディレクトリ階層: 最大 8 レベル
- アルバム / フォルダ数: 99
- トラック / タイトル数: 999
- ID3 タグ v2.0 以降
- Unicode UTF8 のファイル名 (最長 16 バイト)

サポートされていないフォーマット:

- 空のアルバム: MP3/WMA ファイルが含まれていないアルバム。画面に表示されません。
- サポートされていないフォーマットのファイルはスキップされます。たとえば、Word 文書 (.doc) や拡張子が .dlf の MP3 ファイルは無視され、再生されません。
- AAC、WAV、PCM オーディオファイル
- DRM 保護された WMA ファイル (.wav、.m4a、.m4p、.mp4、.aac)
- ロスレスフォーマットの WMA ファイル

6 トラブルシューティング



警告

- デバイスのケースは絶対に取り外さないでください。

システムは自分で修理しようとししないでください。保証が無効になります。

デバイスの使用中に問題が発生した場合は、修理を依頼する前に以下の点を確認してください。それでも問題が解決されない場合は、Philips Web サイト (www.philips.com/support) をご覧ください。Philips にお問い合わせの際は、お使いの機器と、モデル番号およびシリアル番号をお手元にご用意ください。

電源が供給されない

- 充電してください。

音声が出力されない

- 音量を調節してください。
- 適切な音源を選択していることを確認してください。
- ヘッドフォンを取り外してください。

スピーカーが応答しない

- スピーカーをオンにしてください。
- 充電してください。

ラジオの受信状態が悪い

- 本体とテレビまたはビデオレコーダーとの距離を離してください。
- FM アンテナを完全に伸ばしてください。

USB デバイスがサポートされていない

- お使いの USB デバイスは本体に対応していません。別のデバイスを使用してください。

7 通知

Philips Consumer Lifestyle によって明示的に承認された場合を除き、この機器に変更または改変を加えた場合は、この機器を操作するための権限が無効になる可能性があります。



この製品は、電波障害に関する EC (欧州共同体) の要件を満たしています。



ご使用の機器 (プレイヤー) は、純度の高い素材と材質を使用してデザインおよび製造されたもので、リサイクルと再利用が可能です。



車輪付きのごみ箱に×マークが付いたこのシンボルが製品に表示されている場合は、その製品が欧州指令 2002/96/EC に準拠していることを表します。

お住まいの地域の電気電子製品分別回収システムについて情報を入手してください。製品を廃棄する際は地域の規則に従ってください。一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。適切な分別回収は、環境や人体に及ぼす影響の低減につながります。



この製品には欧州指針 2006/66/EC が適用される電池が含まれており、一般の家庭ゴミと一緒に捨てることはできません。お住まいの地域での電池の分別収集ルールを確認してください。適切な分別回収は、環境や人体に及ぼす影響の低減につながります。

環境に関する情報

本製品の梱包には unnecessary 梱包材を使用していません。当社では、梱包材をダンボール(箱)、発泡スチロール(緩衝材)、ポリエチレン(袋、保護発泡シート)の3種類の素材ごとに簡単に分類できるように、努力を払っています。

システムは、リサイクル可能な素材で製造されているため、専門業者による分解の後に再利用できるようになっています。梱包材、使用済み電池、古くなった機器の廃棄方法については、お住まいの地域の廃棄手順に従ってください。

注

- タイププレートは機器の底面にあります。



Specifications are subject to change without notice
© 2012 Koninklijke Philips Electronics N.V.
All rights reserved.

SBM130_00_UM_V1.0

